



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月6日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6565

四半期報告書提出予定日 2024年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,906	3.8	237	46.4	103	374.6	85	353.6
2023年3月期第3四半期	3,021	3.0	162	4.0	21	44.1	18	42.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 118百万円 (11.1%) 2023年3月期第3四半期 132百万円 (188.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	2.82	2.82
2023年3月期第3四半期	0.63	0.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	20,243	4,881	24.1
2023年3月期	20,433	4,790	23.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,872百万円 2023年3月期 4,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		1.00	1.00
2024年3月期(予想)				1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,060	1.6	300	39.9	110	388.3	120	73.6	3.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	30,360,000 株	2023年3月期	30,311,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	68,850 株	2023年3月期	68,775 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	30,215,157 株	2023年3月期3Q	30,098,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、政府のデフレ脱却のための総合経済対策等、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復が続きました。また、円安に伴う輸入物価の上昇を含む消費者物価の上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に注意を要する状況でした。

このような中で、当社グループは、「中期経営計画ブレークスルー2024～PROGRESS IN THE NEW NORMAL～」の最終年度となることを踏まえ諸課題達成に向けて取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、ハロウィンやクリスマス等のイベントで、引き続き来館誘致の強化に取り組みました。ヘルスケア事業におきましては、冬場の繁忙期に入り一般寝具や健康寝具ともに緩やかに市況が回復しつつある中、西日本・東日本の取引先担当を地域ごとに集約を進めるなどの営業効率を高めることに注力しました。せんい事業におきましては、撤退方針とした中国現地法人の営業をほぼストップしたため衣料部門において大幅な減収となりましたものの、防衛産業の一端を担う官需ユニフォームの受注が順調に推移していることに加え、アパレル関係の市況も徐々に回復しているため、一段の国内営業活動強化に取り組みました。

なお、当社は先般開示いたしましたとおり、2024年1月5日付で中国の連結子会社の清算を結了し、全ての海外事業から撤退いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は29億6百万円（前年同期比3.8%減）の減収となりました。ただし、これは中国の連結子会社の営業をストップしていたことが響いたものであり、海外を除く国内売上高は、国内市況の回復に伴い、前年同期比5.2%増加となりました。損益面では、各事業とも粗利率が向上した結果、営業利益は2億37百万円（前年同期比46.4%増）、支払利息などを加味した経常利益は1億3百万円（前年同期比374.6%増）となり、これに、法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は85百万円（前年同期比353.6%増）の前年同期比増益の決算となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、春先に区画工事期間中の一部区画閉鎖の影響があったものの、ゴールデンウィーク前に開業した大型テナントGUの効果やゴールデンウィーク・夏休み・クリスマス・年末年始などの各種季節ごとの販促イベントの強化等により、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、物価高に伴う資産除去コストの上昇を踏まえ資産除去債務を見直すこととし、減価償却費の追加等で約14百万円を計上したことや設備更新の前倒し実施に伴う経費増がありましたものの、コロナ明けの市況回復もあり、営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は16億27百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は6億27百万円（前年同期比5.0%増）と前年同期比増益となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、夏用の当社独自技術のバイオ麻販売の伸び悩みに加え、最盛期の冬場における暖冬などの影響による健康寝具全般の販売が伸び悩むなど苦戦しつつも、コロナ明けの市況回復効果で、売上高は前年同期を上回りました。一般寝装品部門につきましては、冬物商材が暖冬で伸び悩みながらも、夏物商材が順調であった効果もあり、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、製造子会社がコスト高に苦しむなか、販売面では一部コスト増を販売単価に転嫁できたことによる粗利率の向上がありました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は9億円（前年同期比11.3%増）と前年同期比増収となり、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失24百万円）と前年同期比改善しました。

(せんい事業)

衣料部門につきましては、国内アパレルOEMの売上高は前年同期を上回りましたものの、撤退方針とした中国現地法人の営業をほぼストップしたため、全体としては前年同期比で2億43百万円の減収となりました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォームが順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、せんい事業の売上高は3億78百万円（前年同期比36.9%減）となりましたものの、販売面では一部コスト増を販売単価に転嫁できたことにより粗利率が向上した結果、営業利益7百万円（前年同期は営業損失22百万円）の黒字を確保しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は202億43百万円で、前期末比1億90百万円減少しました。その内、流動資産は24億10百万円で、前期末比52百万円増加しました。その主な要因は、売掛債権の回収により受取手形及び売掛金が79百万円減少したこと、商品の仕入増により棚卸資産が1億6百万円増加したこととあります。また、固定資産は178億33百万円で、前期末比2億42百万円減少しました。その主な要因は、有形及び無形固定資産がリース資産の取得などにより1億32百万円増加した一方で、減価償却費の計上などにより3億74百万円減少したこととあります。

負債の残高は153億62百万円で、前期末比2億81百万円減少しました。その内、流動負債は43億96百万円で、前期末比28億66百万円増加しました。その主な要因は、商品の仕入増により支払手形及び買掛金が1億11百万円増加したこと、一年以内に返済期限が到来する借入金を固定負債から流動負債へ振り替えたことにより短期借入金が27億92百万円増加したこととあります。固定負債は109億65百万円で、前期末比31億47百万円減少しました。その主な要因は、約定弁済及び流動負債へ振り替えたことにより長期借入金が32億10百万円減少したこととあります。

純資産の残高は48億81百万円で、前期末比90百万円増加しました。その主な要因は、配当金の支払いにより30百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益85百万円の計上により利益剰余金が55百万円増加したこと、保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が25百万円増加したこととあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月10日発表の予想数値を変更しております。詳細につきましては、本日2024年2月6日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,011,144	1,051,321
受取手形及び売掛金	561,203	481,905
棚卸資産	724,191	830,966
その他	62,144	47,100
貸倒引当金	△1,270	△1,180
流動資産合計	2,357,414	2,410,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,951,635	7,777,134
土地	9,265,726	9,265,726
その他(純額)	216,851	162,062
有形固定資産合計	17,434,213	17,204,923
無形固定資産		
のれん	142,481	131,675
その他	19,987	14,504
無形固定資産合計	162,469	146,179
投資その他の資産		
投資有価証券	337,804	374,638
破産更生債権等	83,256	83,256
繰延税金資産	100,237	59,922
その他	38,420	44,534
貸倒引当金	△80,228	△80,228
投資その他の資産合計	479,490	482,123
固定資産合計	18,076,173	17,833,226
資産合計	20,433,587	20,243,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	253,240	364,535
短期借入金	561,324	3,353,868
未払法人税等	4,297	628
賞与引当金	37,539	17,809
株主優待引当金	28,000	—
その他	645,445	659,276
流動負債合計	1,529,846	4,396,117
固定負債		
長期借入金	9,915,306	6,705,102
長期預り保証金	1,370,427	1,341,777
再評価に係る繰延税金負債	2,476,495	2,476,495
退職給付に係る負債	267,039	274,746
資産除去債務	55,644	71,761
その他	28,482	96,078
固定負債合計	14,113,394	10,965,961
負債合計	15,643,241	15,362,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	25,901	30,979
利益剰余金	15,030	70,139
自己株式	△9,784	△9,791
株主資本合計	131,147	191,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△984	24,661
繰延ヘッジ損益	△28,544	△20,514
土地再評価差額金	4,664,864	4,664,864
為替換算調整勘定	13,556	12,657
その他の包括利益累計額合計	4,648,890	4,681,669
新株予約権	10,307	8,265
純資産合計	4,790,346	4,881,261
負債純資産合計	20,433,587	20,243,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,021,636	2,906,553
売上原価	2,151,618	1,992,346
売上総利益	870,017	914,206
販売費及び一般管理費	707,866	676,856
営業利益	162,150	237,350
営業外収益		
受取利息	68	432
受取配当金	5,930	6,442
固定資産売却益	—	10,035
その他	2,049	3,282
営業外収益合計	8,048	20,192
営業外費用		
支払利息	142,895	148,893
持分法による投資損失	405	1,853
その他	5,121	3,437
営業外費用合計	148,421	154,184
経常利益	21,777	103,359
税金等調整前四半期純利益	21,777	103,359
法人税、住民税及び事業税	2,645	787
法人税等調整額	315	17,221
法人税等合計	2,961	18,009
四半期純利益	18,816	85,350
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,816	85,350

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	18,816	85,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,182	25,645
繰延ヘッジ損益	80,085	8,030
為替換算調整勘定	8,747	△898
その他の包括利益合計	114,015	32,778
四半期包括利益	132,831	118,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,831	118,128
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	210,640	808,665	599,810	1,619,116	—	1,619,116
その他の収益	1,402,519	—	—	1,402,519	—	1,402,519
外部顧客への売上高	1,613,159	808,665	599,810	3,021,636	—	3,021,636
セグメント間の内部売上高又は振替高	342	—	—	342	△342	—
計	1,613,501	808,665	599,810	3,021,978	△342	3,021,636
セグメント利益又は損失 (△)	597,706	△24,890	△22,740	550,075	△387,924	162,150

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△387,924千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	229,554	900,272	378,690	1,508,517	—	1,508,517
その他の収益	1,398,036	—	—	1,398,036	—	1,398,036
外部顧客への売上高	1,627,590	900,272	378,690	2,906,553	—	2,906,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	342	—	—	342	△342	—
計	1,627,932	900,272	378,690	2,906,895	△342	2,906,553
セグメント利益又は損失 (△)	627,617	△12,739	7,180	622,059	△384,709	237,350

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△384,709千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。